

道路関係四公団民営化の基本的な枠組みについて

～ 今後検討すべき課題等 ～

地方公共団体名	岡山県
1 新たな組織と役割	
(1) 機構と会社の設立	
意見：特になし	
(2) 道路資産の帰属と債務返済の考え方	
<p>支持する案がある(案 - 1 - B) 支持できない案がある(案 - 1 - A) どちらとも言えない</p> <p>上記の理由 高速道路資産は公共性が強く、私有化は望ましくない。また、固定資産課税となれば、債務返済や新規建設に影響するため、B案を支持し、A案は支持できない。</p> <p>その他意見</p>	
(3) 地域分割	
<p>支持する案がある(案 - 2 - C) 支持できない案がある(案 - 2 - A) どちらとも言えない</p> <p>上記の理由 JH系3社が一体として残債務を管理することで、料金収入の有効利用を図ることができるため、C案を支持する。 また、JHと異なり、本四公団には地方が出資しているため、A案は支持できない。</p> <p>その他意見 「本四公団は、平成34年度まで国、地方が出資予定」となっているが、出資延長については応じることはできない。</p>	
2 新規建設	
(1) 建設にあたっての評価	
意見：採算性や費用対効果に比べて、外部効果をもっと重視してもらいたい。	
(2) 新会社による建設の範囲とその仕組み	
<p>支持する案がある(案 - 3 - C) 支持できない案がある(案 - 3 - A) どちらとも言えない</p> <p>上記の理由 料金収入を活用して、真に必要な道路の早期整備を図るべきであり、C案を支持する。 また、建設する区間を全て会社の経営判断とするA案は支持できない。</p> <p>その他意見</p>	

3 料金の性格と水準

(1)料金の性格と民間企業としての収益確保

支持する案がある(案 - 4 - B) 支持できない案がある(案 - 4 - A) どちらとも言えない
上記の理由
社会的な波及効果を出させるため、料金をできるだけ低く抑えるべきであり、B案を支持し、
A案は支持できない。

その他意見

(2)料金の水準

意見：本四道路の通行料金については、更なる通行料金の引き下げが必要である。

4 承継する資産・債務の内容・評価

(1)承継資産・債務の考え方

意見：特になし

その他の意見